

春の花壇コンクール 受賞おめでとうございます

SCENE 1



花づくりを通して地域の結びつきを強めることを目指した「花いっぱい運動」。市はその一環として毎年春と秋に「花壇コンクール」を実施しています。今春も33団体（個人を含む）が参加し、自慢の花壇を披露しました。受賞者のうち、最優秀賞に選ばれた3団体（個人を含む）に話を聞きました。

①大休団地花壇クラブ

「6年前からコンクールに参加しているが、今回は花の色や配置を工夫して虹・空・雲などを表現した。地域の人と交流もできて、花壇づくりがこの虹のように地域の架け橋になっている。初めての最優秀賞は、熱意と努力が認められた気がしてとても嬉しい」（代表の村上峰晴さん）

②高泊小学校

「環境委員で分担して水やりをし、クラスに呼びかけて、草取りや枯れた花の手入れをした。ポイントは、花壇の中央に「高泊」のイニシャルの「T」をノースポールで作ったこと。最優秀賞を目標にしてきたが、受賞が決まった時には驚き、嬉しかった」（環境委員の児童）

③佐々木 幸子さん

「花壇は夫が耕し、私が花を植えるなど役割分担して作った。周りが山に囲まれているので、日照時間が短く、審査日を逆算して花を植えるのに苦労した。今年はビオラを真ん中から黄色、紫、白と円を描くように配置した。シバザクラは白色から深紅色の濃淡の鮮やかさがお気に入り」

市ホームページでは受賞者の花壇をカラーで紹介していますのでご覧ください。受賞されたみなさん、おめでとうございます。

